



新年のごあいさつ



蒲郡市長
稲葉正吉

あけましておめでとうございます。

市民の皆さんにおかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、日ごろから市政に対するご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、本年の大きな話題のひとつとして、蒲郡港が開港50周年という節目の年にあたります。そのような記念すべき年に、「みなとオアシスがまごおり」において、全国規模のイベント「Sea級グルメ全国大会」を開催することが決まりました。その他にも、「海フェスタ」が東三河8市町村で開催されます。海そして港の魅力や重要性を次の世代へ繋げ、蒲郡の多彩で豊かな地域資源の魅力を全国に発信してまいります。

また、政府が進める「地方創生事業」を積極的に活用し、他市にない魅力ある町づくりを展開してまいります。その中でも、子育て世代の希望をかなえる町づくりに重点を置き、出生率の向上を図るため、若い世代の出会いの機会の創出や、出産・子育ての負担軽減をはじめとした、安心して結婚・出産・子育てができる環境の整備に努めてまいります。

「夢と希望に満ちた、明るく輝く元気な町・蒲郡」を実現するためには、市民の皆さんが健康でなければなりません。これまで、愛知県と共同実施の「健康マイレージ事業」、がん検診を500円で受診できる「ワンコインがん検診」の導入など、さまざまな事業に取り組んでまいりました。本年も積極的に市民の健康増進施策を進めてまいります。

都市基盤整備については、地域産業の発展と都市機能の充実が、市民生活の利便性向上における最重要課題だと考えています。現在、着々と整備が進んでおります、国道23号蒲郡バイパス東部区間と国道247号中央バイパスの早期完成を目指し、国・県に積極的に要望するとともに、用地取得、道路整備など出来る限り協力してまいります。

名鉄西尾・蒲郡線につきましては、「地域住民にとって欠かすことのできない路線である」との認識のもと、地域をあげての利用促進、沿線の活性化を図っているところであります。このような中、昨年10月には、平成32年度までの5年間の運行継続が蒲郡市・西尾市と名鉄の間で基本合意されました。本年も、引き続き存続に向けての活動に努めてまいります。

最後になりますが、子ども達には夢を持つことができる町づくり、若者には住みたくなる町づくり、そして高齢者には住んで良かったと思える町づくりを進めてまいります。皆さんには、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、今年1年が皆さんにとりまして、輝かしい年となりますことを祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。